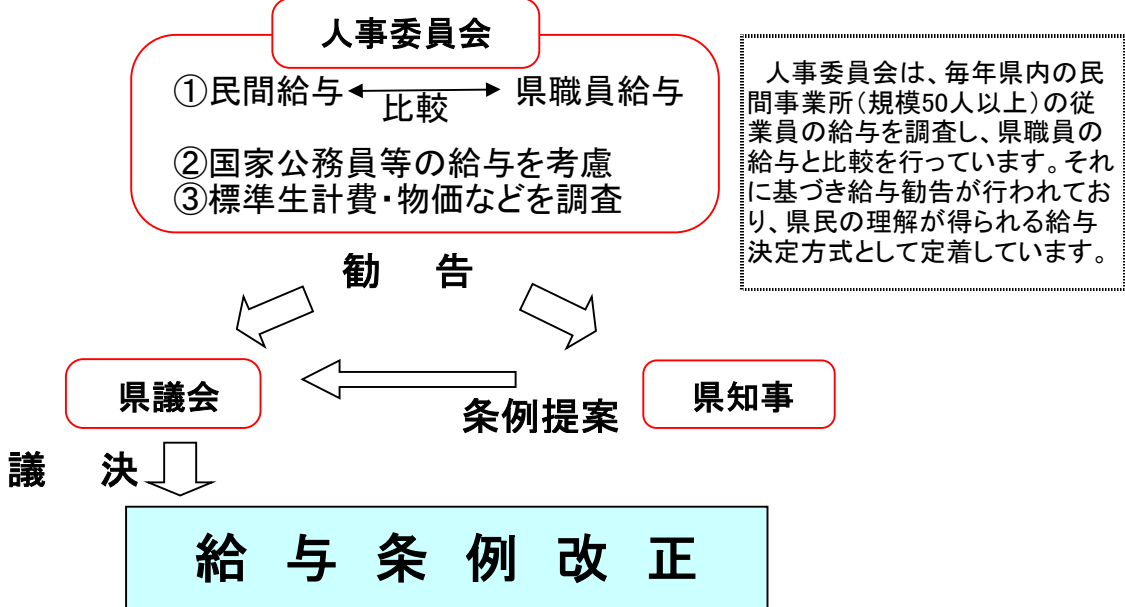


富山県職員の給与等の状況について(概要)

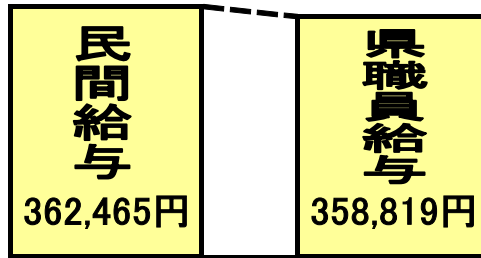
○富山県職員の給与ってどうやって決まっているの？

地方公務員の給与は、地方公務員法により、民間企業の従業員の給与、生計費、国や他の地方公共団体の職員の給与などを考慮しながら、県議会の審議を経て条例で定めることとされています。

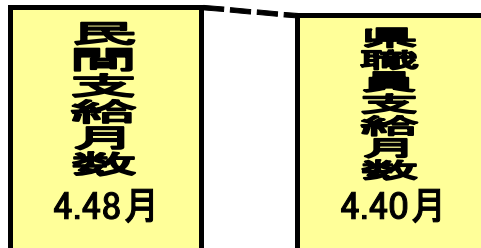


○令和5年度の人事委員会勧告ってどうだったの？

①月例給与は、県職員の給与が民間給与を1.02% (3,646円) 下回っていたため、若年層を中心に1.02%の引き上げとされました。



②期末・勤勉手当は、県職員の平均支給月数が民間における支給月数を0.08月下回っていたため、0.10月の引き上げとされました。



○人事委員会勧告の結果どうなったの？

人事委員会勧告のとおり、月例給与、期末・勤勉手当ともに改定を行いました。

○富山県職員の給料はどれくらいなの？

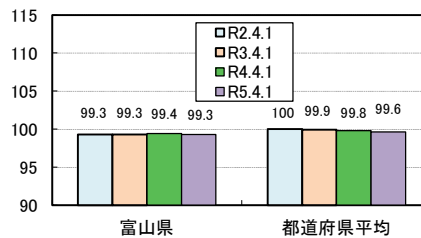
令和5年4月1日現在の富山県職員の平均給料(一般行政職)は321,576円です。

・国、他の都道府県との比較

一般行政職の平均給料月額・平均給与月額

	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
富山県	43歳5月	321,576円	350,854円
国	42歳5月	322,487円	404,015円
都道府県平均	42歳6月	319,151円	360,813円

ラスパイレース指数の状況

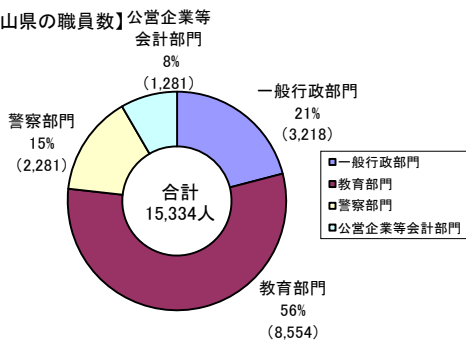


注1 ラスパイレース指数とは、国の行政職俸給表(一)適用職員の俸給月額を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数です。

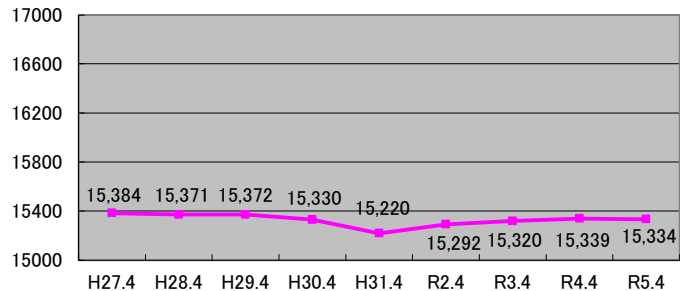
○富山県の職員数はどれくらいいるの？

令和5年4月1日現在の富山県の職員数は15,334人です。定員管理計画を策定し、簡素で効率的な行政運営に努めており、令和5年4月1日現在、一般行政部門の職員数は3,218人となっています。

【富山県の職員数】



【職員数の推移】



一般行政部門	教育部門	警察部門	公営企業等会計部門	合計
3,218	8,554	2,281	1,281	15,334

区分	H27.4	H28.4	H29.4	H30.4	H31.4	R2.4	R3.4	R4.4	R5.4
職員数の推移	15,384	15,371	15,372	15,330	15,220	15,292	15,320	15,339	15,334
増減数	—	△ 13	1	△ 42	△ 110	72	28	19	△ 5

※職員数は、一般職に属する職員数であり、地方公務員の身分を保有する休職者、派遣職員などを含み、臨時又は非常勤職員を除いています。

○富山県の予算のうち県職員の人件費はどれくらいを占めているの？

令和4年度の普通会計決算における職員の人件費の状況は以下のとおりで、決算額のおよそ20.7%を占めており、昨年より0.2ポイント上がっています。

区分	住民基本台帳人口 (R4年1月1日)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 (B/A)	(参考) R3年度の人件費率
R4年度	1,028,440人	614,212,503千円	1,165,695千円	127,351,945千円	20.7%	20.5%

詳細については下記の「富山県の給与・定員管理等について」をご覧ください。

http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1104/ki00000077.html

他の地方公共団体の給与等の状況については下記の「公表システム」を参考にしてください。

＜総務省ホームページアドレス（地方公共団体給与情報等公表システム）＞
http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/iichi_gyousei/c-gyousei/j-k_system/index.html